

■ 地域が必要とする農業農村整備事業関係予算の確保等を要望

中国四国土地改良事業団体連合会協議会

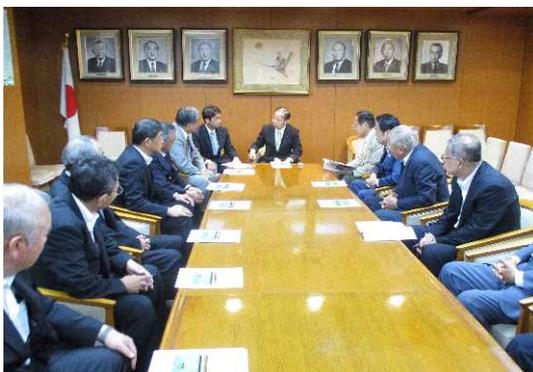
中国四国地域9県の県土連で組織する中国四国土地改良事業団体連合会協議会(会長・大山茂樹香川県土連会長)は、8月1日～2日に国の平成30年度予算編成にあたり関係機関に対し要望活動を行いました。当日は各県土連から会長や役員など総勢25名が参加。本会からは長崎専務理事が参加しました。

農林水産省では山本有二農林水産大臣並びに室本隆司農村振興局次長のほか関係部課長を訪問し、地形条件の厳しい中山間地域を多く抱える中国四国地域の農業農村整備に必要な財源確保と農業農村整備事業の拡充や新制度創設等に関する要望活動を行いました。

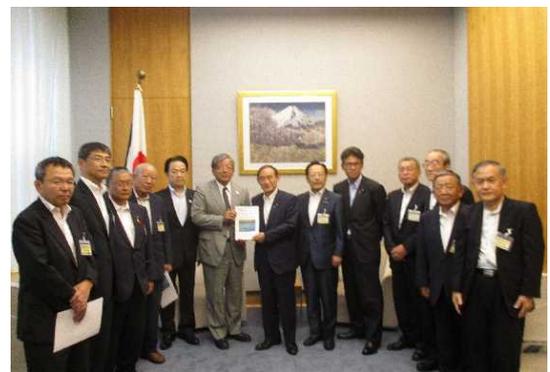
また、二階俊博自由民主党幹事長(全土連会長)、進藤金日子参議院議員、菅義偉内閣官房長官らと面談して要望書を提出し、農業農村整備関係当初予算の確保等について要望しました。



山本農林水産大臣に要望書を手渡す協議会会員ら



二階幹事長に要望活動をする協議会会員ら



菅内閣官房長官に要望書を手渡す協議会会員ら

(要望書全文を次頁に掲載)

■ 地域が必要とする農業農村整備事業関係予算の確保等を要望	1
■ 平成30年度農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する要望書	2
■ 平成29年度 機能診断・補修技術等研修会を開催	3
■ 島根県農業集落排水事業担当者会議	3
■ 全国水土里情報利活用促進会議 第1回幹事会	4
■ 9月の主な予定	4

## 要 望 書

### 平成30年度農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する要望について

中国四国地域の農業農村整備事業の推進につきましては、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、農業農村は、食料の安定供給はもとより、生産活動を通じて、地域の歴史や文化伝統を育むとともに、水源の涵養、国土の保全、自然環境や景観の保全など多面的かつ公益的な機能を有しており、その機能の発揮が大いに期待されております。

しかしながら、近年の農業農村を取り巻く状況は、農業所得の大幅な減少、農業従事者の高齢化や担い手の不足、耕作放棄地の増大、集落機能の低下などの課題が山積し、加えて、各地でため池、堰、用排水路など農業水利施設の老朽化が進んでおり、このままでは食料の自給力の確保に支障をきたすばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されているところであります。

また、全国各地で大規模地震や豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進が喫緊の課題となっております。

とりわけ、地形条件の厳しい中山間地域を多く抱える中国四国地域の農業農村においては、極めて深刻な状況にあります。

こうした状況の下、政府は、昨年8月に新たな「土地改良長期計画」を閣議決定し、11月には「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂するなど、若者たちが希望の持てる強い農林水産業、美しく活力ある農山漁村の実現に向けて、各種施策を展開しています。

特に、農業農村整備事業予算につきましては、平成28年度補正予算と平成29年度当初予算を合わせて、5,772億円を確保していただきました。

さらに、今般の国会におきましては、農用地の利用集積の促進、防災・減災対策の強化等を目的とする土地改良法の改正がなされました。

これらの政府の一連の取組につきましては、農業の競争力強化や国土強靱化に資するものとして、当協議会としても誠に感謝申し上げます次第であり、現場においては、これらの予算や制度を最大限有効に活用し、農業・農村の振興に尽力してまいりたい所存であります。

つきましては、今後とも、農業の競争力強化や国土強靱化に向けた農業農村整備事業を積極的かつ計画的に推進していくことのできるよう、平成30年度の農業農村整備事業の予算編成にあたり、次の要望事項について格段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 1 中国四国地域の農業農村整備に必要な当初予算の確保について
- 2 国土強靱化の実現に向けた、農村地域防災減災事業予算の確保等について
- 3 多面的機能支払交付金の予算確保について
- 4 中山間地農業ルネッサンス事業の制度拡充について
- 5 ため池緊急防災体制整備促進事業の延長と採択要件の緩和について
- 6 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）の継続について

中国四国土地改良事業団体連合会協議会

## ■ 平成29年度 機能診断・補修技術等研修会を開催

去る8月1日（火）、島根県農地・水・環境保全協議会主催で機能診断・補修技術等研修会を大田市温泉津町の「温泉津コミュニティーセンター」で開催しました。

今回は、活動組織の皆さんが日頃困っていると口々に言われるイノシシや鹿などの鳥獣害対策をテーマにした研修内容でしたが、受講者は200名を越え、鳥獣害対策への感心の深さが感じられました。

研修会は参加者が多数となったことから、午前と午後の2回に分けて行い、講師に農研機構 西日本農業研究センターの江口祐輔氏を迎え、何年にもわたる実験結果や、映像をもとにイノシシや鹿の習性等を解説され、その習性を踏まえた鳥獣害対策のポイントをわかりやすく説明して頂きました。



室内研修の様子

午後の部では、現地へも出向き実践に役立つ指導を受け、充実した研修会になりました。

## ■ 島根県農業集落排水事業担当者会議

8月8日、本会会議室において、平成29年度島根県農業集落排水事業担当者会議が、県、市町及び県土連担当者約40名が参加し開催されました。

最初に、農林水産部農村整備課農村基盤グループの本郷グループリーダーより開会の挨拶があり、続いて平塚主任技師から、農業集落排水施設整備関連事業の現状と実施状況について説明があり、今後の農業集落排水事業としては、更新見込みの処理区数が急増する傾向であるとの説明がありました。



担当者会議の様子

その後、農業集落排水施設における耐震手引き（案）について説明があり、県内の処理場の内95地区の処理場については、今後耐震についての検討が必要な状況になっているとの報告がありました。

これについては、各処理場における構造計算がどのように行われているか、また、水槽の配置や構造により様々なケースが想定されることから、対策は市町村の予算や実施時期など見据えながら行っていくことになると考えられるが、地震時における処理場の耐震確認は早期に行う必要があるとの説明がありました。

次に、費用対効果や農業集落排水事業（機能強化対策）の取り扱い等について説明の後、意見交換会を行い、活発な意見交換が行われました。

本会では、農業集落排水施設の機能診断・最適整備構想策定及び機能強化対策の事業計画書作成等の業務支援を行っていますので、お気軽にご相談ください。

## ■ 全国水土里情報利活用促進会議 第1回幹事会

全国水土里情報利活用促進会議の第1回幹事会が、8月3日（木）砂防会館別館（東京都千代田区平河町）で開催され、本会を含む会員36名が参加しました。

平成27年9月に発足した本会議では、水土里情報の利活用の促進に関する調査・研究・情報交換、広報活動の企画・実施、研修会、国への提案などの活動を展開することとしています。

3年目となる本年度第1回幹事会では、農研機構の農村工学研究部門の担当者から講演が行われた後、農林水産省関係大臣官房政策課村松技術企画専門官から「農業データ連携基盤の構築について」情報提供がありました。その中で本年3月22日に開催された第6回未来投資会議で安部総理大臣が「官民で気象や地図などのデータを出し合い、誰でも簡単に使える情報連携プラットフォームを本年度中に立ち上げる」と発言されたことを受け、平成29年6月9日に“未来投資戦略2017”（公的機関等が保有する農業、地図、気象等の情報のオープン化等により、様々なデータを共有・活用できる「農業データ連携基盤」を本年度中に立ち上げ、データに基づく付加価値や生産性の高い農業の現場への実装を推進する）が閣議決定されたことにより、全国の水土里情報システムとの連携や協力が今後必要になるとの説明がありました。

本会では水土里情報システムを活用して、多面的機能支払交付金事務支援として活動組織の計画図作成、中山間地域等直接支払の傾斜測定及び区分図の作成、耕作放棄地を示した位置図作成、災害復旧事業事務支援などの業務支援を行っております。会員の皆様からの要望・相談等ありましたら、担当者へお気軽にお問い合わせください。

### 9月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
9月11日(月)	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
9月11日(月)	全国ため池等整備事業推進協議会通常総会	東京都
9月14日(木)	島根県公共工事積算共同利用システム運営協議会総会	松江市
9月17日(日)	県土連職員採用試験（高卒）	県土連
9月21日(木)	県土連 県央管内 業務説明会	川本町
9月24日(日)	「田んぼの学校」稲刈りコース	雲南市

みどり  
「水」「土」「里」  
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水  
「土」・・・土地や農地  
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活

水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)